

## ◀ S · E · L · D · A · A ▶ No.16

上智大学英語学科同窓会  
東京都千代田区紀尾井町7-1  
上智大学英語学科事務室気付

平成5年4月20日 発行

Sophia English Language Department Alumni Association



## 変わりゆく大学

英語学科講師 東郷公德

四ツ谷駅を降りて聖イグナチオ教会を見上げながら土手沿いの道を正門に向かう。土手の桜はもう散ってしまったがその向こうの青い冬空がとってもきれいだ。見慣れた景色だが心がなごむ。イグナチオの先で道が少し左へ曲がる。あれ、何か変だぞ。空が広い。1号館が見える。S.J.ハウスまで見えるではないか。旧図書館、そして2号館がないのだ。

年初に本年度の入学試験が終了し、合格者の発表も行われた。この4月の新生生の学生番号は93で始まる。筆者の学生番号は83で始まっていた。ちょうど10年経ったことになる。僕達は旧図書館を知って

## 楽しいパーティ形式の総会にぜひお立寄り下さい

1993年度 SELDAA 定例総会は、オール・ソファーズ・デー5月30日(日)に開催!

これまで総会というと、とかく固苦しくてあまり面白くないといった感じがありましたが、今年はこれを大巾にイメチェン! 若葉の薫るキャンパスに色々なイベント、催し物がくりひろげされるオール・ソファーズ・デーの来る5月30日(日)に、SELDAAの総会も開催することに致しました。年に一度の総会ですので、もちろん、ほんのちょっぴり固苦しい議題はありますが、そんなものは15分ぐらいで片付けて、あとは英語科の在校生から先輩、大先輩までながい年月を横断する同窓会、懇親パーティとして、ワイワイ、ガヤガヤ、オホホにウハッハーの楽しい時間になりたいと常任理事一同、張り切っています。当日は、各世代の先生方もお招きしていますので、ご家族やお友達、恋人にダーリンなども連れて久しぶりに懐しのキャンパスにお出かけ下さい。

日時	5月30日(日曜)
時間	午後1:15~
場所	1号館407教室
会費	昨今の日本の経済状況に合わせて、大巾ダウン! お一人1,000円

いる最後の学生である。閉架式の図書館の受付や大きな扇風機の回っていた閲覧室が懐かしい。その閲覧室はその後2号館ラウンジとなり、禁煙のために女子学生の園となった。いまの1年生があの花園を知る最後の学年となる。

取り壊された建物の代わりに紀尾伊坂ビルと11号館がオープンし、ホテル・ニューオータニ側への出入り口もできた。3号館の奥、いわゆる「赤絨毯」のあった場所も後期からは教室となった。7号館は白く塗り直され、壁に「上智大学」という黒い文字が描かれた。イグナチオも新しく建て直す予定だ。

大学の入れ物はどんどん変わってゆく。中身のほうも、先生方の顔触れが10年前とは随分違う。けれども、入れ代わらない部分の中身が時代に合わせて変わってゆくことはそれほど簡単ではない。学生達の様子は、一見10年前とまったく同じように見える。が、彼らの気質も、その求めるものも、世の中の変化に連れて着実に変化していくことは大変な仕事だ。中身の一部になってしまうと見えなくなってしまうこともいっぱいあるようだ。こんなまじめなことも1年に3回くらいは考えてみなくては、と決意を新たにする1年生講師のわたくしでありました。

## 1992年度 BTF 講座秋期報告

実社会で活躍している英語学科卒業生の方が講師となり、「英語と社会」というテーマで、現役英語学科生に講義をするというユニークな授業です。以下、今年秋期の講師の方々の横顔と講義の内容を要約します。

10月16・23日

齊藤資晴氏（昭和57年卒）

駿台予備校教師

大学入学時には既に何を学びたいか明確だったという齊藤氏。英語学科会長として活躍する他にも、言語学サークルや、STPなどのさまざまな活動をしなが、本来の目的である「英文法を詳しく勉強する」事を達成した。卒業してからは予備校の専任講師として、教鞭をとっている。

日本の英語教育について、何が改善されるべきかということを経験の中から語っていただいた。そして最後に、社会に出てからの自己演出というものがいかに大切かということについて話された。



10月30日

飯塚昌治氏（昭和46年卒）

JW トンプソン社社長

外資系の広告代理店の日本で代表取締役である飯塚氏。アメリカや上智での学生生活を経た後、現在の会社に入社した。外資系の会社の日本との会社の違いは外資系でなくてはできないサービスや仕事でオンリーワン企業を目指すことであると指摘された。

また、社会人になる心得として「会社で必要とされる人間になるには」という問題意識を持つことが大切であり、人間としても「オンリーワン」になる重要性を話された。



11月6日

鈴木薫氏（平成3年卒）

NHK 編集局著作権部

昨年卒業したばかりの鈴木薫氏。現在はNHKの著作権部で活躍している。米国高校留学、比較文化学科で勉強を通して得た経験について語ると共に、大学院進学が就職で悩んだことなどを話して下さった。

学生にとっても、身近な存在である彼女の就職活動の話や進路選択の話は、学生と一緒に就職について学べる機会を与えてくれた。また「著作権」という、現在、話題になっている問題とかかわっている彼女の仕事に興味をもつ学生も多かった。



11月13日

渡辺由美子氏（昭和57年卒）

朝日新聞社国際本部

大学を卒業してから、就職、転職、そして米国大学院への留学、そして、現在の朝日イブニングニュースの報道部の仕事という経歴とそれにいたる過程と決断についてお話しなされた。

彼女の行動力に感心すると共に、やはり社会に出ると女性は不利で、苦勞が多いと感じた女子学生も多かった。しかし、そんな苦勞を努力によって乗り越えた彼女のバイタリティから学ぶことは多かったようだ。示唆に豊んだ有意義な講義だった。



11月27日

岡田恵介氏（昭和46年卒）

ジャパントイムスウィークリー編集長

現在、日本国内で発行されている英文週刊紙ジャパントイムスウィークリーの編集長を勤める一方、ロスアンゼルスでの国際版発行の仕事もしている岡田氏。

ジャーナリズムの現場にいる彼の話に興味をひかれる学生も多かった。記者クラブ制度をはじめとする閉鎖的な日本の現状を批判するなどジャーナリズムのあり方についても言及した。アメリカのジャーナリズムとの比較をしながら問題点を明確にした講義には説得力があった。



12月4日・11日

岩崎洋一氏（昭和21年卒）

日本ポラロイド㈱総務人事部長

現在、日本ポラロイド㈱で総務人事部長を勤める岩崎氏は、企業の人事は入社試験の際、学生の物の考え方、価値観を重視すると指摘された。また入社後は、企業の目標、職務の目標、個人の目標をどれだけ達成したかで評価を与えられることを話された。

また、企業社会の現状、女性の総合職の難しさなど、学生にとってはショックな現実も披露。企業側の本音を聞いて驚いた学生も多かったが、それがかえって良かったという意見も多い講義であった。



12月18日

石倉洋子氏（昭和46年卒）

青山学院国際政治経済学部助教授

上智大学英語学科を卒業されてから、通訳、翻訳などをした後、米国でMBAを取得、さらにハーバード大学で博士課程を終了した石倉氏。

その後はフリーで日本の企業のコンサルティングをし、1985年からはマッキンゼー・アンド・カンパニーで経営コンサルタントとして活躍、現在は青山学院で教鞭をとっている。

常に優秀な人に囲まれて切磋琢磨できる環境にいたということが自己に刺激を与え、今の彼女をつくったこととお話された。



1月8日

渡辺勝之氏（昭和55年卒業）

神奈川県綾瀬西高校教諭

大学在学中のカンボジアでのボランティア体験が渡辺氏がその後の人間関係を考える契機となった。その後、大学を卒業し、高校教師になった彼は、非行や登校拒否など現在の高校の現状の壁にぶつかった。しかし「プラスのストローク」という投げかける人間関係と「しるしの教育」という相手に心をのせているという証拠を見せるという方法に基づいて、氏は「豊かな人間関係」に基づいた教育を実践している。相手を理解するには努力と訓練が必要だと語られた。



## SELNET も不況で不調

英語学科同窓会（SELDA）の会員サービスの一つとして昨年発足した人材バンクシステム、SELNETは、この原稿締め切り時点で、全国各地の会員方々26名から求職のご応募が寄せられましたが、日本経済の不況のため求人の方はわずか6社に限られ、最近になり、やっとそのうちの1社にご紹介した会員の採用が決まりそうという状況です。

このような事態をふまえ、去る2月1日に開かれた本年度第一回の常任委員会ではSELNETの活性化について議論が交わされましたが、当面、経済状況が好転して企業の人事採用が活発になるまで従来の運営方法を継続する、但し運営担当の常任委員を交替して新しいアイデアも導入する、の2点が決まりました。

これまで求職のご応募をいただいた会員の大多数の皆様にはあまり適格な求人先のご紹介が出来ていないのが現状ですが、ご応募された方々の登録は当面、ご本人からのお申し出があるまで有効としてコンピューターに残してありますので、条件の合う求人があり次第ご紹介いたします。

従って、優秀な上智大学英語学科同窓生の皆様への求人・求職にはぜひ今後も引き続きSELNETをご利用下さいますようお願い致します。なお、ご利用方法は従来同様、既に前々号、前号の会報に同封してお手元にお送りしてある登録用紙をご記入の上、登録料（求人1件2万円、求職1件2,000円、但し在校生は1,000円）を振込んだ振込伝票のコピーと登録用紙と共に下記までお申し込下さい。

〒102 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学英語学科事務室内 SELNET係宛 FAX: 03-3238-3910

振込先：さくら銀行 赤坂アークヒルズ支店 普通預金 5172130 口座名義 SELNET

## 卒業生便り

### ASTE の活動

清泉女学院中学高等学校 外国語科教諭  
石川和弘（昭和45年卒）

卒業以来、最初の10年は男子高校、それ以後は中学・高校と続いた女子校と、いずれも私立の学校で英語を教えています。この間1981年に、ニッセル先生と吉田研作先生の発案で、英語学科の卒業生で英語教育に携わっている者の研究会（上智大学英語教員研究会、略称：ASTE）が発会しましたが、これに最初から参加させていただいています。多くの卒業生の方が卒業後、大学との公的なつながりがなくなってしまう中、このような機会をいただいたことは、たいへん恵まれたことであると思っています。以来、現場で知識を放出するだけでなく、教員としての研鑽が積み、充電もできるという恵まれた環境の中での充実した教師生活です。

そんなわけで、通常の生活は、皆様が想像される普通の教員の毎日ですが、校務の次には、このASTEの活動に最も時間を費やしています。特にこの3～4年は、吉田研作先生を中心に、1994年度から実施される高等学校のカリキュラムで新しく英語



関係で設けられる【オーラル・コミュニケーション】という科目の教科書作成に従事してきました。この教科書は、まもなく文部省の検定を通過する見込みです。

昨今、日本の英語教育がいろいろと取り沙汰をされていますが、最初は、急進的とさえ思われた、この会の斬新な英語教育についての考え方も、今ではそれほど特異なものではなくなってきていることを知るにつけ、時間というものの重みを感じています。

### 在日外国公館専用窓口の事情

外務大臣官房儀典官室 課長補佐  
山口祐志（昭和43年入省）

イスラエル、ギリシャ、メキシコでの在外勤務から帰国して4年半が経ちます。現在、国内にある大使館、（総）領事館、国際機関事務局とその職員が日本側の各種行政サービスを求めて接触してくる儀典官室窓口係の一員として特権免除の世話役を勤めています。

世間一般には稀な仕事ですので、特権免除の生い立ちをまずご説明します。部族間抗争が展開されていたその昔、戦鬪の合間に派遣された使節の身の安全を相手側兵士から守る習慣が芽生え、紀元前5世紀頃まで引き継がれてきました。古代ギリシャ都市国家時代に入ると使節が長期間常駐に近い形で交換され、古代ローマでは諸外国使節の受入れに携わる専門家が養成されたことも記録されています。その後幾多の時代を経て、特権免除は今日では、国家や

国際機関を代表する公館や職員が行う任務の能率的な遂行確保のために与えられています。

英語学科創設直後に法典化された外交関係ウィーン条約に明記されている身体・公館などの不可侵や、裁判からの免除といった伝統的な対象分野は歴史的経緯から最も重要なものですが、当室窓口を賑わすことは余りありません。むしろ、条約に明記されて



いない事項について、派遣国との間に各種便宜を与えあう実務の方が圧倒的に多いといえます。当窓口では、このような便宜として、例えば青ナンバーの車両登録、免税ガソリン・クーポンの発給、公用品・個人用荷物の輸出入許可申請だけで年間1万件以上扱っております。その他、全国約7千店で使える消費税免税カードの発給や、公館関係施設用地を対象とする地価税免除などの分野も手掛けております。更に、到着したばかりの公館職員がよろずの相

談を受けに訪れるものもわが窓口であります。

近年、大使館と国際機関の日本への進出には目覚ましいものがあります。年平均3公館ほど増えてきましたので、外国公館を裏方で支援するわが窓口では、舞台裏での振り付けに休む間もなく動き回ってきたこととなります。国際化の波が押し寄せる限り、窓口では席の暖まる暇もない日々が続くものと思われ

## 雅子様と真珠ブーム？

㈱ミキモト常務取締役本店長  
春日豊彦（昭和44年卒）

1月6日夜一斉にテレビ各局が“皇太子妃に小和田雅子さん内定”というニュースを流し始めました。私はこの臨時ニュースを喜ぶと同時にホッとしましたが、この思いは人一倍強かったのではないかと思います。と言いますのは、今年は当社の創業者である御木本幸吉が明治26年に真珠養殖に成功してから丁度100年目に当たります。従って各種百周年事業が全国で展開されますが、世の中は折からの消費不況の真只中。いかに各地で派手なる周年事業を繰り広げても消費意欲が盛り上って来なければ、お目出たい筈の真珠発明百周年も霞んでしまうと危惧していたからです。早速翌日の株式市場では真珠関連株が超人気を集めました。この様に株式市場がいち早く反応するには立派な理由があります。3年前の秋篠の宮様と紀子様の御成婚の時には日本中に紀子様ブームが起こり真珠が飛ぶ様に売れました。丁度バブル経済の真最中という事もありましたが、特にクリスマス時期には店頭に行く真珠のネックレスを補充しても注文に追いつかないという状況でした。又12年前のイギリスのチャールズ皇太子とダイアナ妃の御成婚の時にも世界中に真珠ブームが巻き起こり



ました。それ迄は欧米では真珠というのはエリザベス女王や皇太后様のイメージが強くて、若い女性が着け飾るものというイメージが弱かった様です。しかしダイアナ妃が好きで、しかもファッショナブルに着けられたお蔭で若い女性の間で爆発的人気を呼びました。私は当時ニューヨークに駐在していましたが五番街を歩くと真珠のチョーカーを着けた女性が溢れていたのを思い出します。1月の婚約発表以来やはり真珠のネックレスの人氣が徐々に店頭で高まって来ていますが、納采の儀、御成婚と進むにつれて真珠ブームが再び湧き起こり百周年に花を添えてくれる事を期待している今日この頃です。

## テレビの仕事に飛び込んで

日本テレビアナウンス部  
米森麻実（平成元年卒）

私は、日本テレビの「ルック・ルックこんにちは」という番組と「とんねるずの生でドラグラいかせて」という番組にアナウンサーとして出演しています。また今年の8月には日本テレビの40周年キャンペーンソング「いつまでもそばにいて」を他の2人のアナウンサーの女性と共に3人組で歌います。このト



リオの名前は“DORA”でどらねこの「どら」から来ています。このキャンペーンソングは4月1日にシングルCDとして発売されました。

私の基本はもちろんアナウンサーですが、バラエティ番組などでは、アナウンサーとタレントのボーダーがなくなっている時代だと思います。アナウンサーも個性で勝負の時代ですから、私もいろいろな

角度から自分を表現してみようと思っています。

テレビのアナウンサーという仕事はとても楽しく、充実しています。自分のいろんな面を視聴者の皆さんに見ていただきたいと思います。将来の目標としてはワイドショーやバラエティの他にも、語学力を活かして海外レポートや海外ニュースなど情報系の番組で特派員の仕事もしてみたいと思っています。

## 先哲奨学基金について

英語学科長 草深 武

1989年8月14日未明、北アイルランドは第二の大都市デリー、堅牢な城壁で囲繞されたその中心部から一つの街路が完全に姿を消した。国教会の聖堂や高等裁判所の近隣南地70mのButcher's Streetは20年に恒る同根相煮るテロ闘争の結果一戸を残して爆破され尽し、その孤立の街の残骸ささが轟音と共に一塊の瓦礫と化したのだった。その前一箇月、私はベルファストの浮浪者収容所で日々馬鈴薯の皮剥きに明け暮れていた。物見高い好奇心から、社会のどん底で民族・社会・宗教的葛藤がどう表現されるものか覗き見できやせぬかとの不遜な期待は見事裏切られ、そこに繰り上げられるのは繁榮と平安を貪る大東京の底辺・山谷ドヤ街での冷酒一杯を巡る闊諍と何ら変るところはなかった。施設には失業対策の為輪番で若者が千円余りの賃金を求めて数時間、“奉仕活動”に来る。中にマークという25才の若者がいた。精悍な日焼け顔からは青灰色の瞳が周到に施設の平常を確認してゆく。短い金茶髭をたくわえた口からは冗談が止めど無く、手は作業に余念がない。たまさか浮浪者間の喧嘩には、引き締った長身で俊敏に割って入り騒動を未然に防ぐ。有能な好青年である。聞けば恋人との間に二児があり、彼女も又失業独身者として生活扶助を受けているという。親子四人愛すれども、国の社会事業に寄食するには正規の家庭生活を営むことはかなわぬというのだ。以来日本の大学生諸君に対する私の考え方が一変した。

英語学科には従来ブリタニカ奨学金制度がある。故メイスン師・ニッセル師を中心に英語学科教員が執筆した教材 New English Master の印税収入の一部が複数の奨学生に支給されるものである。昨今の活発な大学生の消費意欲、ベルファストの失業独身者の100日分にも値する金員もどう費消されているものやら。この奨学制度はすでに歴史的役割を果たしてしまっているかに思える。そこでこれを改廃し、英語科先哲奨学金制度を起す準備を開始した。先哲とは初代科長野口啓祐先生を始め、今日の英語科を育て上げて下さった諸先生方を指す。今後 English Master の印税の一部は同奨学基金に積み立てられる一方、現在バリー師管理下にある野口奨学金と同窓会の御好意により学科に御寄附戴き、先哲奨学基金の元本に繰り入れ大学の基金運用規定に添った運用果実を毎年奨学生の学資補助に支給するという案である。

では奨学対象者は。ハンコック師主催の下町学習会を手伝う頃、養護施設から通うS君がいた。両親は何らかの理由で幼い彼を施設に託して蒸発。S君、大層な秀才で、指導員の大学生が頭をかかえる難問をスラスラ解き、有名都立校に見事入学していった。3年後の彼はどうなったろう。世界に冠たる経済大国日本にも、学資不如意で、あたら有為秀才の進学断念がまだ多々ある。近年上智大学は難民入学も受け容れているやに聞く。なれば、先哲の薫陶御恩に報ゆ可人。真に経済的困窮に苦しむ有為学徒が、独り英学科まらず広く上智大学にて人格陶冶し社会に巣立つを助ける為上記奨学制度を興すこと、先哲諸賢喜びこそすれ難ずることよもあるまい。

## ソフィア会卒業生名簿発刊にご協力を！

間もなくお手元に届くソフィアだよりにありますように、ソフィア会では上智大学創立「80周年記念名簿」を93年秋の発刊を予定し準備を進めています。英語学科同窓会は、日頃会報郵送の宛名ラベル印刷、会員名簿の原稿作成をはじめ運営上ソフィア会からは多大なご協力をいただいております。「名簿」作成に当たり本会は積極的に協力をしてまいりたく、皆様にはソフィア会名簿委員会による記載事項の確認調査にご協力をお願いすると同時に、別紙同封のように英語学科卒業生約5,000人中住所の確認がとれない方が590人程いらっしゃいますので、消息をご存じの方、是非情報をソフィア会事務局までお寄せ下さるようお願い致します。

## SELDAA 女性セミナーへのお誘い

女性セミナー会員 乳井京子 (昭和46年卒)

1984年11月の第1回目より早9年目を迎えました。セミナーの内容は、文学・時間問題から比較社会学・心理学に至るまで多岐にわたり、時には英語そのものに戻り、学び直しながら、主として英語でのレクチャーを楽しんでおります。

本年度は4・5月に、沖縄の経済復興に尽力されたアンセルモ教会のFr. Neal H. Lawrenceをお招きして戦中戦後の貴重な体験談や外国からみた日本についてのお話を伺いました。7・9月には、日本の同時通訳の草分けで、現在も活躍中の荒井佐奈子先生に同時通訳の技法による英語教授法を実践して戴きました。10月には英Economist紙の東京支店長Nick Valery氏が【Japan's Global Role】についてspeechをして下さいました。11月には、比較社会学の鶴見和子先生の講義を受けました。【Sources and Functions of Errors in International Communication】と題して瓢箪から駒で成立した日英通商条約の裏話や、日本の公文書の二重性を五箇条の御誓文や沖縄返還時のジョイント・コミュニケを例にとって明解に分析して下さいました。12・1月にはFr. F.Brittoがインドの歴史・身分制度や習慣について知られざる世界を紹介して下さいました。

今後も知的刺激を受ける場となる様、会を発展させていきたいと願っております。多くの方の御参加をお待ちしております。

日時	原則として毎月第4水曜日午前10:30~12:00		
場所	かつらぎ館地下ホール		
会費	3,000円/年		
連絡先	世話人	41年卒 鈴木禮子	3321-3378
	会計	43年卒 吉田知子	3332-1840

### 会費お支払いのお願い

本会の諸活動は、卒業生の皆様からの会費で運営されています。事務局一同は、より一層の活動内容の充実と拡大を図ってゆく所存です。同窓会の円滑な運営のため、まだ会費の未納の方は、同封の振込用紙で最寄りの郵便局または銀行より是非お支払いいただくようお願い致します。その際卒業年度を記入してください。卒業年がありませんと、帳簿記入の事務処理がはかどりません。

尚、今まで一度も会費をお支払いいただいていない方は、入会金も併せてお支払い願います。

入会金：1,000円

年会費：2,000円（できれば3年分）

〈会費お支払い状況〉

封筒に貼付してある宛名ラベルの右上部をご覧ください。

朱書きの数字は、93年度以降その年度分までの会費が支払われている、

数字の後に(1/2)とあるのは、その年度は年会費の1/2(¥1,000のみ)が支払われている、朱書きで“入”とあれば、入会金は支払われているが、1993年度分の会費が支払われていない、「朱書きのない」のは、今まで一度も入会金も会費も支払われていないことを、それぞれ表しています。

事務局長